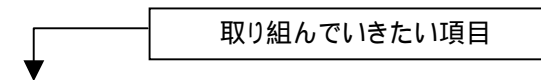


## 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )



項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型の福祉サービスとして運営上の方針や目標を理念に掲げている。		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日中の申し送りや会議において、理念の唱和を行い共有を図っている。		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	ご家族様の参加できる行事として、年2回イチゴ狩りと納涼祭を催している。		地域との交流については現在あまり活動しているとは言い難い。今後はより地域との関係を築いていく為に交流を深めたいと思う。
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	挨拶程度の交流は以前より見られているが、立ち寄ってもらえる様な関係は作り上げてはいない。		地域密着型サービスとして、地域との交流を目標としたボランティア等の呼び掛けをしてみたいと思う。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域密着型のサービスとして、買い物は出来る限りホーム周辺のお店にご利用様と一緒に利用している。また、自治会の夏祭りなどの催し物への参加も取り組んでいる。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域交流の希薄や施設内での支援で手がいっぱいであり、事業所としての地域貢献は取り組んでいない。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	閉鎖的になりやすい施設において外部の方が介入する事や、改めて自分を振り返る事で新たな発見がある。それを活かしてより良いサービスの提供に取り組んでいきたい。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	状況報告を行い、会議内での意見を基にホーム全体でサービスの質の向上に取り組んでいる。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市役所の担当者や地域包括支援センターのケアマネージャーとは、情報交換を行いより良いサービスの提供に取り組んでいる。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	内容を理解し活用する事が出来る程度の知識として身に付けてはいない。また特に学ぶ機会を設けていない。		勉強会等を設けて職員の理解を深め、それを活用できるホームを作っていく。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待についての知識を身に付け、発生しない様に防止に努めているが、特別に学ぶ機会を設けてはいない。		勉強会等を設けて職員の理解を深め、それを活用できるホームを作っていく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時はご家族様、可能な場合はご利用者様と共に来所して頂き話し合いを行っている。解約時も契約の解除に至る経緯などご家族様や関係機関を含め、話し合いを行っている。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご利用者様との会話も大切な業務と考えており、日常の会話から意見をお聞きし、それをカンファ等で話し合い反映している。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>面会時や定期受診の連絡時などに随時報告している。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時や定期的な電話連絡にてご家族様と話し合い、ご意見や不満苦情をお聞きしホームにて対策に取り組んでいる。</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>会議などで意見を発表する機会を設けたり、必要に応じて面談などで意見を聞き、それをフロア、施設で反映している。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>人手が足りない状態であれば、他フロアでの勤務も行っている。</p>	
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>日頃よりスタッフ間のコミュニケーションを図りストレスや不満が伺える際は、個別に話し合いの場を設けている。しかし、他のフロア間ではあまり交流の機会がない為、会議の課題になる。</p>	<p>全体の申し送りを実施し、他フロアとの交流の機会を設け始めている。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループホーム協議会による事例検討会や本部での新人研修などの機会を設け、スタッフの育成に取り組んでいる。		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流によるサービスの質の向上は、現状取り組んでいない。		交流の場として地域が実施する研修や勉強会への参加に取り組んでいきたい。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	定期的に計画している親睦会や日常の交流からスタッフの状況に気を配り、その都度、相談や不満を話し合える環境作りに取り組んでいる。		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	眼に見えない努力や実績も出来る限り把握し、労いの言葉を掛けることでスタッフの向上心につながるよう取り組んでいる。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご利用者様の情報や面接時の会話からご本人様の不安や悩み、望む事等を確認し、より良いサービス提供を行えるよう取り組んでいる。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご利用者様、ご家族様が共に安心して利用出来る様、何度か話し合いの場を設け、お互いの信頼関係を築けるよう取り組んでいる。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた際は、その都度必要と思われるサービスの情報提供を行っている。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ホームでの生活や入居時の情報からスタッフで話し合い、ご家族様及びご利用者様と相談しながら生活の場としての環境作りに取り組んでいる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	手作り昼食などでは作り方のコツを教えて頂いたり、レクリエーションや散歩など一緒に楽しむ時間がある。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ホームでの様子を伝え何かあれば一緒に考え対応を決めていけるようにしている。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	キーパンソンを中心に本人を含めたご家族様への理解も1つの支援であり、日常から連絡、連携をとっている。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様やご友人など面会に来られた際は歓迎しているが、ホーム側からの働きかけは少ない。		ご家族様への面会た行事の参加を促す声掛けを行っていく。
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	スタッフが間に入りレクリエーションを行ったり、掃除や洗濯物をたたむなど、率先して行って下さるご利用者様もいる。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>契約解除後、病院にて生活されている方は、スタッフ個々に見舞いに行っている。</p>		
<p><b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p>				
<p>1.一人ひとりの把握</p>				
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>その都度ご本人様に希望や意思を聞いて決定している。</p>		
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入所時やその後もご家族様から情報収集に努めている。</p>		
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>申し送りノートや日報、個人ノートなどに日々の変化などが具体的に記録されている。</p>		
<p>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>				
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ご家族様、ご本人様は人により個人差があり、意見や情報が収集されにくい方もいる。</p>		
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>期間に応じケアカンファレンスを行い介護計画の見直しを行っている。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録に記入しているが、個人毎にノートを用意し気づきやご家族様から得た情報を記載し活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご利用者様の急変時やご家族様の状況に応じて受診の付き添いなどはスタッフにて対応する事もある。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ホーム内に地域交流委員を設置し、自治会との連携を図り、尚且つ小学校、保育園の児童園児の来訪を受け入れている。		ボランティアを募集し、ご利用者様と一緒にレクリエーションを行って頂き、募集チラシ、ポスターを自治会に配布する。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	市で行っている連絡会議などに参加する事で、情報交換を支援できる体制に努めている。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要に応じて情報の交換や連絡を取っている。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族様と共に情報を共有できる様、かかりつけ医と連絡を取っている。また、ご家族様への協力要請が困難な場合は往診による対応もしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	往診にて来所される医師は内科が専門ではあるが、他のG・H等への往診も行っており、認知症に関する相談・支援をしてくれている。		
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	週2回看護師が来所し血圧測定、検温を1回行っている。その都度、ご利用者様の体調、症状を話し相談している。往診を受けているご利用者様は看護師の出勤日に合わせ往診医が来られている。		
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時はスタッフによる面会やご家族様からの情報提供、病院関係者との情報交換により得られた情報をスタッフで共有し、退院後の準備に取り組んでいる。		
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ターミナル期の方については、ご家族様の協力が不可欠になるが、状態の変化により場合によっては受診時にスタッフが付き添う等して医師や家族との連携をとり現場スタッフの意見をふまえて方針を決定している。		急変等何があるか分からないので、早期からの方針についての話し合いを行えば、より安心した支援が出来るのではないかと。
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	フロアにて実際にターミナルケアを実施した例がなく、医師や家族とチームとしての支援がどこまで行えるものなのか見極められない。		現場スタッフの介護技術も含め、「できること」「できないこと」を話し合い、今後に備えて準備していく必要がある。
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	実調などにより実際に会って話し合い、情報交換を行うこともあるが、現状では、情報の提供を行う場合が多い。		退居後も安心した生活を送っていただくためには、事業所どうしの情報の共有も大切である。今後はより事業所間関係を深めていく必要があるのではないかと。



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>信頼関係が築かれていくなかで、言葉遣いが悪くなってしまいう場合もある。</p> <p>個人情報の取り扱いには十分に注意している。</p>	<p>心をこめた親切なサービスに努め、その心を磨き続けることも必要である。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>日々のコミュニケーションから築かれた信頼関係により、思いを表現できる環境づくりに取り組んでいる。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>日頃よりご本人様の希望を訴えることが出来る関係を築き、希望が聞かれた際は、その都度対応できる環境になっている。</p>	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>入居時には、在宅で使用していた衣類等を持参していただき、ご本人様の望む衣類を着用して頂いている。</p> <p>また、特に希望される店はないため、定期的に訪問理容を利用している。</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>ご利用者様と一緒に食事を作る際は、食材を切る等の作業を職員と共に行ったりしている。</p>	
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>現在、飲酒や喫煙を望まれているご利用者様はいない。おやつや飲み物などには、飲みたい物を聞き提供したり、ご利用様と一緒におやつを手作りする等の取り組みを行っている。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>排泄記録を活用し、その人個人の排泄のタイミングを計り、随時トイレ誘導等行っている。</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>時間帯は職員の都合にて午後になってしまうことが多いが、季節感を感じれるように、ゆず湯や菖蒲湯などを実施している。</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>入眠時間や起床時間は、個人により異なる為、ご利用者様に合わせた支援をしている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>毎日の生活の中で、散歩やドライブ等の外出の機会を設けたり、行事などで外食や出前を取る等の取り組みをしている。</p>		<p>地域との交流も含め、地域資源を活用した支援も取り入れていきたい。</p>
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>現在、金銭を自己管理されているご利用者様はいないが、希望が聞かれた際は、スタッフが付き添い購入できるように支援している。</p>		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>天候の良い日は近所を散歩したり、買い物に出かけられるように支援している。</p>		
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>個別での対応はあまり取り組めていないが、他のご利用者様や、場合によってはご家族と共に、イチゴ狩りやお花見などの機会を設けている。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話での連絡を希望されるご利用者様も少ない現状だが、希望が聞かれた際は随時対応している。		年賀状や暑中見舞いなど、ご利用者様に作成していただき、やり取りが出来るような機会を設けてみたい。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族の都合などもあるが、基本的に訪問は自由に行って頂いている。面会時には、ご利用者様を中心に、スタッフや時には他のご利用者様も会話に参加している。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について正しく理解しているスタッフが全てとは言えない。しかし、身体拘束については実施していない。		身体拘束についての理解を深める為の勉強会などを行っていきたい。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室の鍵はご本人より要望があれば掛けることもあるが、基本的には施錠していない。玄関の鍵は、ご利用者の安全を最優先に考え電子ロックにて施錠している。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	ご利用者様のプライバシーを考慮しながら見守りを行っている。夜間は2時間おきの巡視にて、安否確認を実施している。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	処方薬や入れ歯洗浄剤などの注意の必要な物品は、事務所のロッカー内に施錠し保管している。また、花瓶のようなワレモノも食堂に配置しているが、事故を未然に防げるように注意して見守りを行っている。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	配薬については、スタッフ2名で誤薬のないように確認しながら行っている。また、転倒の危険性があるご利用者様に対しては、歩行時にご本人のストレスにならないよう配慮しつつ付き添い介助している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	現在ではまだ全スタッフが参加できてはいないが、地域で実施している救命救急講習への参加により、訓練に取り組んでいる。		緊急時に落ち着いた対応が行えるように、繰り返し訓練に参加する必要がある。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災訓練の実施により、災害時の対策に取り組んでいる。しかし、地域住民の協力を得られる状況まで、交流を深めることはできていない。		スタッフの出勤状況やご利用者様の状態の変化により、対応方法は変わっていくので、日頃から意識しておく必要がある。
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	面会時やケアプラン更新時には、ご家族様にご利用者様の現状を報告し、状態の低下などによるリスクについて話し合い、対応策を検討している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日の申し送り等で、体調や言動の変化を常にスタッフ間で話し合い、必要に応じて医療機関への受診を行っている。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	副作用などの細かい情報までを、全てのスタッフが理解しているとは言い難い。必要に応じて処方箋や医療機関、調剤薬局に確認を行っている。		処方薬や服薬による症状の変化などの理解が不十分な面もあり、今後は勉強会等を実施していきたい。
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	下剤の服用による排便コントロールを実施していたご利用者様にたいし、起床後の水分補給や排便リズムの把握により、便秘の改善と下剤を使用しない排便コントロールを支援することが出来た。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後の口腔ケアは、毎食後実施しているご利用者様が大半だが、これまでの生活スタイルも個々によって異なる為、全員が毎食後に実施はできていない。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>個人に合わせた食事形態で提供している。また食事摂取量は、毎食後に確認し記録に残している。</p>		<p>食事摂取量だけではなく、場合によっては水分摂取量の記録も必要となる。</p>
78	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）</p>	<p>インフルエンザやノロウイルスについては、感染症対応マニュアルを用意し実行されている。また、外出後のうがい・手洗いは職員はもちろんご利用者様にも、日頃から実施して頂いている。</p>		<p>疥癬や肝炎、MRSAについては、過去にフロアでの感染は確認されておらず、対応や予防についてのマニュアルなどはなく、今後、作成する必要がある。</p>
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>調理については、ホーム内の厨房にて行っている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>				
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>玄関の入り口は段差になっておりバリアフリーになっていない。</p>		<p>玄関の入り口は車椅子の方でも安心して通れるようにした方が良くはないか。</p>
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有空間では不快な音や光がないようにカーテンをしたり、季節の飾りや行事の写真を貼ったりして居心地良く生活できるようにしている。</p>		
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>食堂リビングでは自由に過ごす事ができる。リビングにはテレビ、CDカセット、ソファがあり、一人ひとり自由に好きな事ができる。歌を歌ったり新聞を読んだりもできる。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッド、家具等は自宅より持ち込みし使用して頂いている。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	掃除の際や天気の良い日は、窓を開けて換気している。また、においが気になる際は随時換気を行っている。温度調節は状況に応じて窓を開けたりエアコンにて空調している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下には手すりを設置しトイレも車椅子の方でも使用できる様に設計されている。ベッドにも手すりを設置するなど自立した生活を支援できるような環境作りに取り組んでいる。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	職員が対応しながら出来るだけ自力で行えるよう声掛けしています。また、居室入り口には自分の部屋が分かるように表札を付けたり、トイレの入り口にも分かりやすく大きな文字で案内している。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	日光浴の場にと庭を利用している。また、敷地内の畑をご利用者様と共に作業できるようにしている。		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に つけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

個別対応をしている。散歩や買い物など毎日のように外出の機会を設け、地域社会の一員として生活を送って

頂ける様に取り組んでいる。

また、地域での夏祭りや雛祭り、フラワーフェスティバルなど季節によって開催される催し物には、極力参加している。